

18年度委員会報告

口から食べる委員会

昨年度は口腔ケアの基本、今年度は経管栄養の方への口腔ケア、認知症の方へのアプローチなど、個別ケアの充実を図りました。認知症の方への口腔ケアのマニュアルは有りません。それぞれにあった対応を試行錯誤しながら試みました。大事なことは、1回ダメだったからといってあきらめず、毎回アプローチしていくことです。それから、予防ケアの観点から、デイケア利用者を中心に、カラオケの前うがいと顔の体操を行いました。口の健康は、体の健康の源です。一人一人が、口への関心を高め、おいしく食事をしましょう。

排泄委員会

排泄委員会では、まず便秘に効くという「便秘体操」の効果を試してみようと、便秘がある1階の利用者にスポットを当て、メンバーが毎日交代で11月より排便体操のモニタリングを行いました。

そして1階の利用者もう1名を選び、アセスメントを取って排泄計画を立て、他職員の協力を得て12月よりモニタリングを行いました。またデイケア利用者1名も選び、在宅とデイケアでの排泄介助の取り組みのモニタリングを行い、計3名の方の結果をまとめて発表しました。

記録委員会

記録委員会では、この1年間で、館独自の「記録マニュアル」の作成に取り組んできました。まず5月に、現状の記録の見直しを行い、記録の必要性・目的とは何か？という初心に戻り、記録について学習しました。記録の目的のひとつに「利用者を知る」という点があります。利用者に、よりよいケアの提供をし、信頼関係を築くという点で、とても大切な事です。少しでも多くの情報をスタッフが共有するための記録が出来ればと思い、新たな記録マニュアル作成に取り組んできました。これから委員のメンバーが中心となり、日々の業務に取り入れていく予定です。今より“質の高いケアの提供”につながるよう、今後も取り組んでいきます。

認知症委員会

認知症委員会ではこの1年間で「アルツハイマー型認知症」「脳血管性認知症」「レビー小体型認知症」について調べ資料作りを行い、2月に職員対象の勉強会を開催しました。認知症については未知の部分も多く、はっきりと解明されていない病気ですが、認知症のある方との関わりで大切なことはその人を尊重すること、よく知ること、信頼関係を築くことなどを勉強会で再確認しました。

認知症委員会で作成した資料も今後のケアに少しでも役立てていただければと思います。

一階 豆まき



職員が鬼に変装して、利用者には豆の変わりにお手玉を投げさせて頂きました。「鬼は外、福は内」と言いながら、豆まきの気分を味わって頂きました。

二階 雛祭り



なんぐん館の三人官女ならぬ四人官女です。雛飾りの前でハイチーズ！！おひなさまに負けじと劣らぬ(?)初々しさです。

デイ・ケア「ひな玉子」皆で作りました！！

玉子の殻に可愛い柄の着物を着せ、雛人形を作りました。

